

取材のお願い

国際交流基金アジアセンター presents

「CROSSCUT ASIA #06 ファンタスティック！東南アジア」ラインナップ案内

～監督・ラヴ・ディアス、俳優・永瀬正敏からメッセージ到着～

国際交流基金は、10月28日（月）に開幕する第32回東京国際映画祭（Tokyo International Film Festival：以下、TIFF）で、アジア映画特集シリーズ「国際交流基金アジアセンター presents CROSSCUT ASIA」を実施します。第6回となる今回は、「ファンタスティック！東南アジア」と題し、国際的に活躍する監督や人気俳優が監督したホラーやスリラー、SF、ファンタジー等、東南アジアの「摩訶不思議」を多様な視点でとらえた9プログラム10作品を上映します。

開催に先駆けて、283分に及ぶSF作品『停止』（'19）で今年のカヌスを震撼させたラヴ・ディアス監督から、日本の観客に向けて熱いメッセージが寄せられました。激動のフィリピン近現代史に焦点を当ててきた彼が、本作では近未来の祖国の姿を通して、全世界に警鐘を鳴らします。コンペティション部門に選出された、ディアスとポール・ソリアーノの共同脚本作品『マニャニータ』も必見です。また、本特集の特別ブックレットの巻頭インタビューに登場する俳優・永瀬正敏氏より本特集に向けてのコメントも寄せられました。

TIFF会期中には、各作品の監督や出演者らが来日し、上映後のQ&Aセッションを予定しています。10月29日（火）には、アントワネット・ハダオネ監督（'11『リア・カンタペイ、神出鬼没』）、シーグリッド・アーンドレア P・ベルナード監督（'19『それぞれの記憶』）、マティー・ドー監督（'19『永遠の散歩』）の女性監督3名を迎えて、「ホラー女子会の秘かな愉しみ」と題したシンポジウムを開催。アジア地域で不動の人気を誇るホラー映画の創作について、女性クリエイターの視点から紐解いていきます。作品の詳細については、後頁をご参照ください。

<ラヴ・ディアス監督メッセージ>

下記、国際交流基金アジアセンターのウェブサイトにて全文記載しております。
<https://jfac.jp/culture/events/e-crosscut-asia-06/#comment>

<永瀬正敏メッセージ>

「アジア映画の底力を実感出来る貴重な機会。
一人でも多くの方にじっくり体感して頂きたい。」

永瀬正敏 Photo: Yoshizawa Kenta



記

事業名：国際交流基金アジアセンター presents 「CROSSCUT ASIA #06 ファンタスティック！東南アジア」
主催：国際交流基金アジアセンター、ユニジャパン（東京国際映画祭）

第32回東京国際映画祭 開催概要

期間：2019年10月28日（月）～11月5日（火）

会場：六本木ヒルズ、EXシアター六本木（港区）

東京ミッドタウン日比谷 日比谷ステップ広場ほか 都内の各劇場及び施設・ホールを使用

ご取材について

東京国際映画祭のご取材には、必ずプレスパス登録が必要となります。詳しくは公式ウェブサイトでご確認ください。
<http://2017.tiff-jp.net/ja/>

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

国際交流基金アジアセンター presents

「CROSSCUT ASIA#06 ファンタスティック！東南アジア」ラインナップ

巨匠ラヴ・ディアス、新鋭ランディ・コロピスがそれぞれ描く、**近未来ディストピア**
『停止』『フォックストロット・シックス』
自然破壊、政治の腐敗…世界がいま抱える問題を反映させた超大作。

エリック・クー製作総指揮、**民間伝承を題材にしたオムニバス・ホラー**
『フォークロア：母の愛』『フォークロア：TATAMI』HBO アジア製作シリーズ 2 作。
インドネシア編はホラーの帝王ジョコ・アンワル、日本編は監督としても活躍めざましい齊藤工。

女性監督の活躍に注目したい、アジアのホラー映画群『リリア・カンタペイ、神出鬼没』『それぞれの記憶』『永遠の散歩』
ホラー映画業界の内幕を暴くモキュメンタリーから、今年のヴェネチア・トロント出品作まで。

ジャンルを横断し、本格ホラーに挑戦するフィルムメーカーたち『Sisters』『存在するもの』『死を忘れた男』
ブラッチャー・ピンゲーオ（『マッハ！』）、エリック・マッティ（『牢獄処刑人』）、ヴィクター・ヴー（『草原に黄色い花を見つける』）

 <p>©REALITY ENTERTAINMENT, INC.</p>	<p>『存在するもの』（2019年 フィリピン／114分）★監督、キャスト来日予定 監督／エグゼクティブ・プロデューサー：エリック・マッティ キャスト：シャロン・クネタ、ジョン・アルシラ、ケント・ゴンザレス、パム・ゴンザレス、ギラ・アルヴァレス 双子の妹の死、悪霊の跳梁跋扈 『牢獄処刑人』のエリック・マッティが放つ本格ホラー。双子の妹マヌエラが急死したとの報せが届いて帰郷したルイスを待っていたのは、悪霊たちの度重なる跳梁跋扈だった。果たして妹の死の真相は？</p>
 <p>©Rapid Eye Pictures</p>	<p>『フォックストロット・シックス』（2018年 インドネシア／114分） 脚本／監督／プロデューサー：ランディ・コロピス キャスト：オカ・アンタラ、マイケル・ルイス ★監督、キャスト来日予定 インドネシア発 SF 超大作 新人監督ランディ・コロピスが描く近未来ディストピア大作。食糧不足で人類の危機が迫るなか、元海兵隊員で国会議員に転身したアンガは仲間とともに敵に挑む。オカ・アンタラ（『ザ・レイド GOKUDO』）ほか人気スター勢揃い！</p>
	<p>『停止』（2019年 フィリピン／283分）★キャスト来日予定 監督／脚本／プロデューサー／撮影／編集：ラヴ・ディアス キャスト：ピオロ・パスカル、ジョエル・ラマンガン、シャイーナ・マグダヤオ、ヘイゼル・オレンシオ カンヌが震撼！ ディアス初のSF 『立ち去った女』のラヴ・ディアス初の近未来 SF。2034年、火山の噴火で太陽が隠された東南アジア一帯は闇のなかに沈む。独裁者が専制政治を行い、多くの民衆の血が流れる…。カンヌ 2019 監督週間出品作。</p>
 <p>©2018 CJHK ENTERTAINMENT, NOVEMBER FILMS, AN NAM PRODUCTIONS, ALL RIGHTS RESERVED</p>	<p>『死を忘れた男』（2018年 ベトナム／130分）★監督来日予定 監督／脚本：ヴィクター・ヴー キャスト：クアック・ゴック・グアン、ディン・ゴック・ジェップ、ジュン・ヴー、タン・トゥ、フランソワ・ネグレ 不老不死の霊力を得た男 ベトナム期待の星ヴィクター・ヴーがハートフルな『草原に黄色い花を見つける』に続いて手がけた対照的な本格ホラー。謎の洞窟に迷い込んだアンは、不老不死の力を身につけた 300 歳の男フンと出会うが…。</p>

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



©Lao Art Media, Screen Division, Aurora Media, 108 Media

『永遠の散歩』（2019年 ラオス・スペイン・シンガポール／116分）

監督／プロデューサー：マティー・ドー

キャスト：ヤナヴッティ・チャンタルンシー、ポー・シラッサ、ヌーナファ・ソイダラ **★監督来日予定**

過去に戻り母の死を食い止める？

ラオス初の女性監督マティー・ドーによるホラー風味のSF。50年前に母を死なせたことを後悔して生きてきた老人が霊力を授かって過去に戻る。果たして母の命をつなぎとめることはできるのか？ ヴェネチア 2019 出品作。



©2019 SAHAMONGKOLFILM INTERNATIONAL CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED

『Sisters』（2019年 タイ／105分） **★監督来日予定**

監督／プロデューサー／原案：プラッチャヤー・ピンゲーオ

キャスト：プロイユコン・ロージャナカタンユー、ナンナパット・ルートナムチューサク

タイ伝統のお化け“ガスー”登場！

『マッハ！』『チョコレート・ファイター』のプラッチャヤー監督、会心のホラー・アクション。悪魔ハンターとしての能力を身につけた姉と、か弱く、悪魔たちにつけ狙われる妹。運命に翻弄される姉妹は、真実が明かされる時、究極の選択を迫られる。



『リア・カンタペイ、神出鬼没』（2011年 フィリピン／100分）

監督／脚本／原案：アントワネット・ハダオネ

キャスト：リア・カンタペイ、ジョエル・サラチョ、ジェラルディン・ヴィラミル **★監督来日予定**

ホラー映画業界の内幕、抱腹絶倒！

30年間の端役人生の果てに初めて映画賞にノミネートされた老女優リア・カンタペイは受賞スピーチを考えて落ち着かない。ホラー映画業界の内幕を暴く、笑いと涙のモキュメンタリー？ ドキュメンタリー？



©Viva Communications Inc.

『それぞれの記憶』（2019年 フィリピン／105分） **★監督来日予定**

監督／脚本：シーグリッド・アードレア P・ベルナード

キャスト：クリスティーナ・レイエス、シアン・リム

異郷のロマンス、恐怖のスリラー

北海道が舞台の大ヒット作『キタキタ』のベルナード監督の新作は恐怖のサイコ・スリラー。ジョージア（グルジア）で出会ったフィリピン人移民のマールとホアキム。その生活に不気味な影が忍び寄る。



©2018 HBO Pacific Partners, v.o.f. FOLKLORE is a service mark of HBO Pacific Partners, v.o.f. All rights reserved.

＜フォークロア・シリーズ＞

ケーブル放送局 HBO アジア製作、エリック・クー製作総指揮、各国民間伝承を題材にした6話のTV オムニバス・ホラー。うち2作を紹介。

『フォークロア：母の愛』（2018年 シンガポール・インドネシア／49分）

監督：ジョコ・アンワル

キャスト：マリッサ・アニタ、テウク・ムザク・ラムダン **★監督来日予定**

熟達のホラー王ジョコ、TIFF 初登場

インドネシア篇は『悪魔の奴隷』などの熟達のホラー王、ジョコ・アンワルが監督。住処を追い出された母と息子に怪奇現象が降りかかる。



©2018 HBO Pacific Partners, v.o.f. FOLKLORE is a service mark of HBO Pacific Partners, v.o.f. All rights reserved.

『フォークロア：TATAMI』（2018年 シンガポール・日本／52分）

監督：齊藤 工

キャスト：北村一輝、神野三鈴、黒田大輔、大西信満 **★監督登壇予定**

齊藤工監督、初のホラーに挑戦！

日本篇は俳優・齊藤工が監督として初のホラーにチャレンジ！ 父の葬儀に帰郷した男が、家族の秘められた過去を知るが…。北村一輝主演。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



取材のお願い

アジア映画の魅力をさらに深掘り！ CROSSCUT ASIA 特別ブックレットを配布

CROSSCUT ASIA の魅力を掘り下げる特別ブックレットを今年も劇場で配布します。巻頭インタビューには、2017年 TIFFF コンペ部門審査委員を務めた国際派俳優永瀬正敏氏インタビュー、エリック・クー監督と石坂健治プログラミング・ディレクターの対談、乙一氏のエッセイのほか、映画人によるコラムやレビューなどを収録。さらに、観客の方を対象にしたプレゼントキャンペーンも実施！ どうぞお楽しみにしてください。

[国際交流基金アジアセンターpresents CROSSCUT ASIA]

国、監督、テーマなどさまざまな切り口でアジア映画を取り上げる部門として、2014年 TIFFF で設立。これまでタイ、フィリピン、インドネシアの各国特集、巨匠監督推薦の若手監督映画、去年は音楽をモチーフにした東南アジア映画を特集しました。今年で6年目を迎えます。



この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp